

フィールズ株式会社 事業戦略説明会

2014年5月7日

1 パチンコ・パチスロ部門 成長戦略

» 事業提携と顧客創造

» 3カ年ラインアップ

2 円谷プロダクションの現状

1 パチンコ・パチスロ部門 成長戦略

事業提携と顧客創造

1) 当社提携メーカーの状況

現在 2014年3月期

- パチンコ **2** ブランド
- パチスロ **4** ブランド



3年後 2017年3月期

- パチンコ ブランド
- パチスロ ブランド

パチンコ

株式会社ビスティ

株式会社オッキー.

パチスロ

株式会社ロデオ

株式会社ビスティ

株式会社エンターライズ

株式会社ミズホ

1) 当社提携メーカーの状況

現在 2014年3月期

- パチンコ 2 ブランド
- パチスロ 4 ブランド



3年後 2017年3月期

- パチンコ 5 ブランド
- パチスロ 6 ブランド

パチンコ

株式会社ビスティ

株式会社オッキー.

株式会社ディ・ライト

株式会社ミズホ

株式会社七匠

パチスロ

株式会社ビスティ

株式会社エンターライズ

株式会社ミズホ

株式会社七匠

株式会社ディ・ライト

株式会社オッキー.

1 パチンコ・パチスロ部門 成長戦略

3カ年ラインアップ

株式会社ロデオ

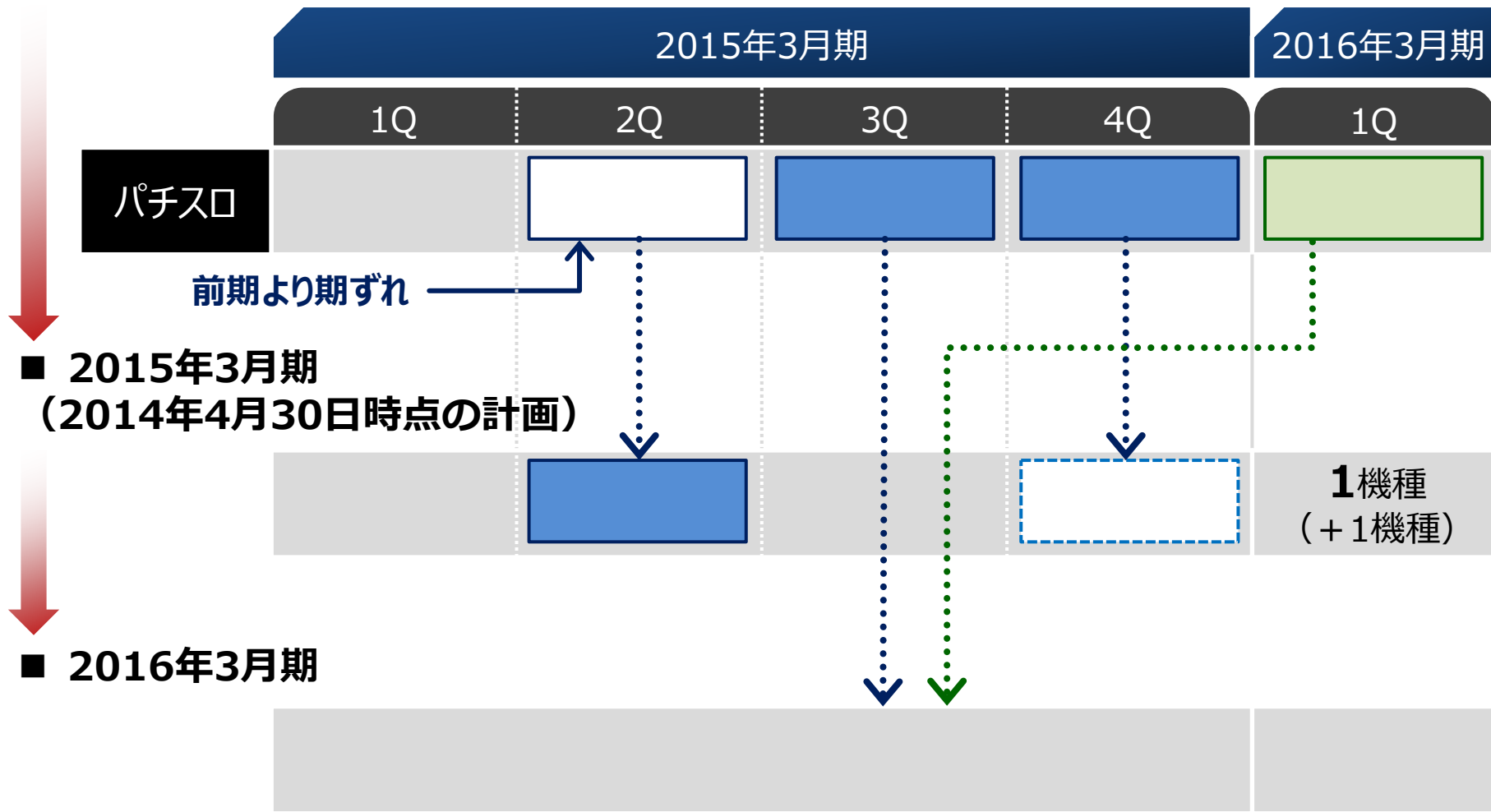


- | | |
|----------|------------------------------------|
| 1995年6月 | サミー株式会社と業務提携開始 |
| 2000年10月 | 株式会社ロデオの総発売元として同社パチスロ機販売開始 |
| 2001年11月 | 株式会社ロデオとパチスロ機の独占的販売代理店
取引基本契約締結 |
| 2002年3月 | 株式会社ロデオに資本参加 |

1) ロデオ

合併事業解消に向け、個別商品は交渉中

■ 2015年3月期（当初）



2) ビスティ

株式会社ビスティ

- 1996年3月 株式会社三共が株式会社ガイドーを子会社化
- 2003年11月 株式会社ガイドーとの事業提携発表
- 2004年1月 「株式会社ビスティ」に社名変更
- 2004年2月 株式会社ビスティ製パチンコ機 販売開始
- 2005年3月 株式会社ビスティ製パチスロ機 販売開始

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
パチスロ	1機種	2機種	2機種
パチンコ	2機種	2機種	2機種

3) オツケー.

株式会社オツケー.



- 1983年4月 「株式会社まさむら遊機」として設立
- 2008年2月 京楽産業. 株式会社と共同事業に関する業務提携発表
- 2011年10月 「株式会社オツケー.」に社名変更
- 2012年8月 提携第一弾のパチンコ機発売

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
パチスロ	-	-	2機種
パチンコ	1機種	2機種	2機種

株式会社エンターライズ



- 2002年4月 株式会社カプコンの遊技機部門として
「株式会社エンターライズ」設立
- 2010年2月 株式会社エンターライズの総発売元として販売開始
- 2012年7月 日電協（日本電動式遊技機工業協同組合）加盟

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
パチスロ	3機種	3機種	4機種

株式会社ミズホ



- 2011年12月 株式会社ユニバーサルエンターテインメントと
株式会社ミズホを通じた共同事業に関する基本合意書締結
- 2012年1月 株式会社ミズホの株式198株（所有割合49.8%）取得
…約10億円
- 2014年2月 株式会社ミズホ製パチスロ機「アナザーゴッド ハーデス」を販売

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
パチスロ	1機種	2機種	3機種
パチンコ	-	2機種	2機種

6) ディ・ライト

株式会社ディ・ライト *D-light*

- 2000年6月 株式会社大一商会のセカンドブランドとして「株式会社ディ・ライト」設立
- 2008年5月 日工組（日本遊技機工業組合）加盟
- 2014年4月 共同事業に関する業務提携開始

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
パチスロ	1機種	2機種	2機種
パチンコ	-	2機種	2機種

株式会社七匠

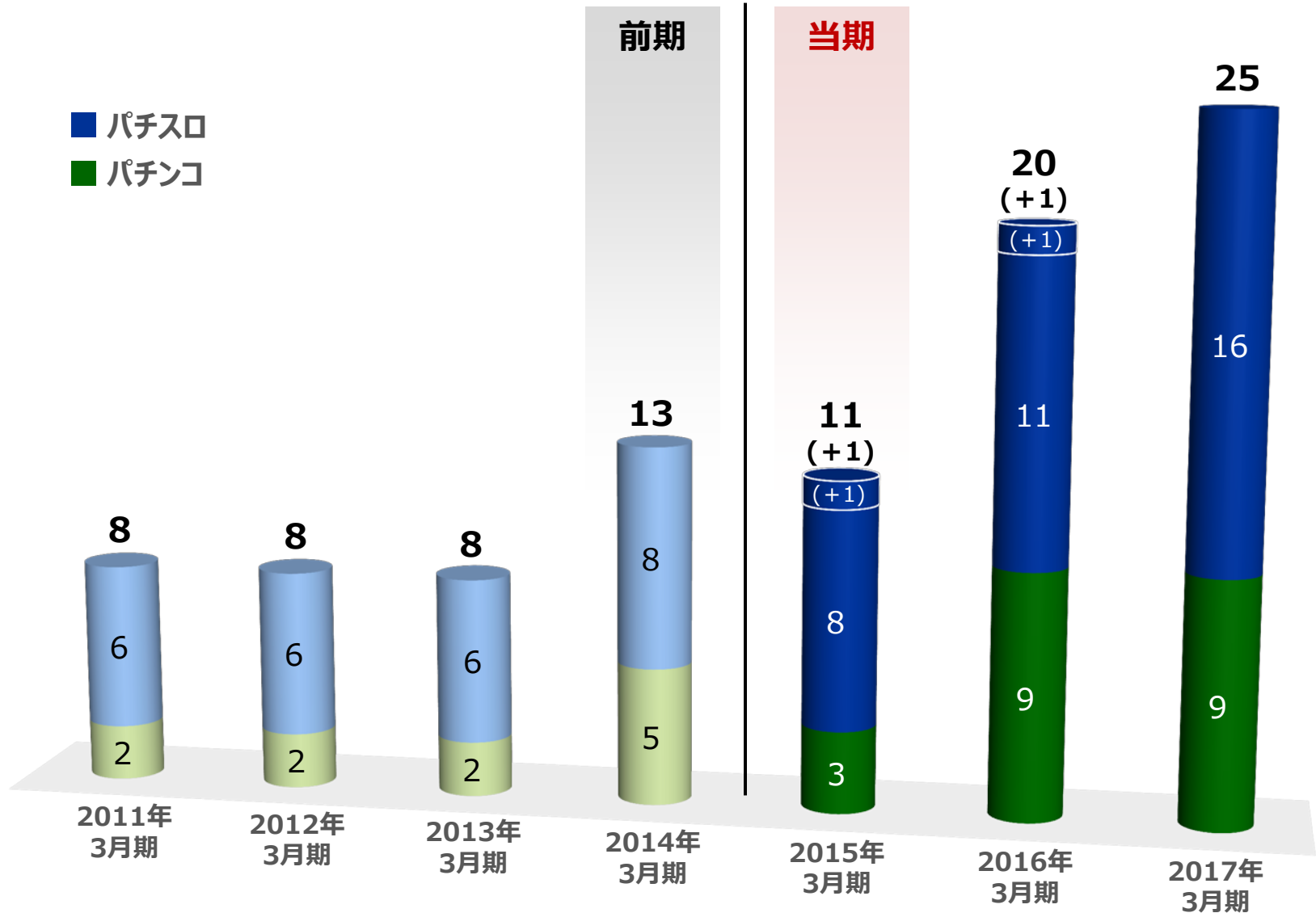
NANASHOW

- 2009年8月 「株式会社七匠」設立
- 2013年5月 日工組（日本遊技機工業組合）加盟
- 2014年1月 同社に資本参加（38.9%）
- 2014年4月 共同事業に関する業務提携開始

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
パチスロ	1機種	1機種	3機種
パチンコ	-	1機種	1機種

8) パチンコ・パチスロの販売機種数/3カ年ラインアップ

(単位:機種)



※ リユース機、スペック変更機は除く

9) 1機種平均3万台以上を目指す商品力

業界の発展は、“**新しさ**” = “**顧客創造**”によって成し遂げられてきた。
我々もまた業界の健全な成長を牽引する
“**新しさ**”に挑戦することを使命とする。

■ 1980年：SANKYO「フィーバー」

1980年に登場したSANKYOの「フィーバー」はファンの度肝を抜く斬新なゲーム性で、パチンコ店経営、流通形態、メーカーの規模やあり方まで、パチンコのすべてを変え、産業として成立させた。

■ 1985年：パチスロ認可

1985年に風営適正化法が施行されパチスロが正式に認可された。その後デビューした「クランキーコンドル」は当時70万台に過ぎなかったパチスロ設置台数を100万台そして200万台へと増大させる原動力となり、現在のパチスロの隆盛を生み出した。

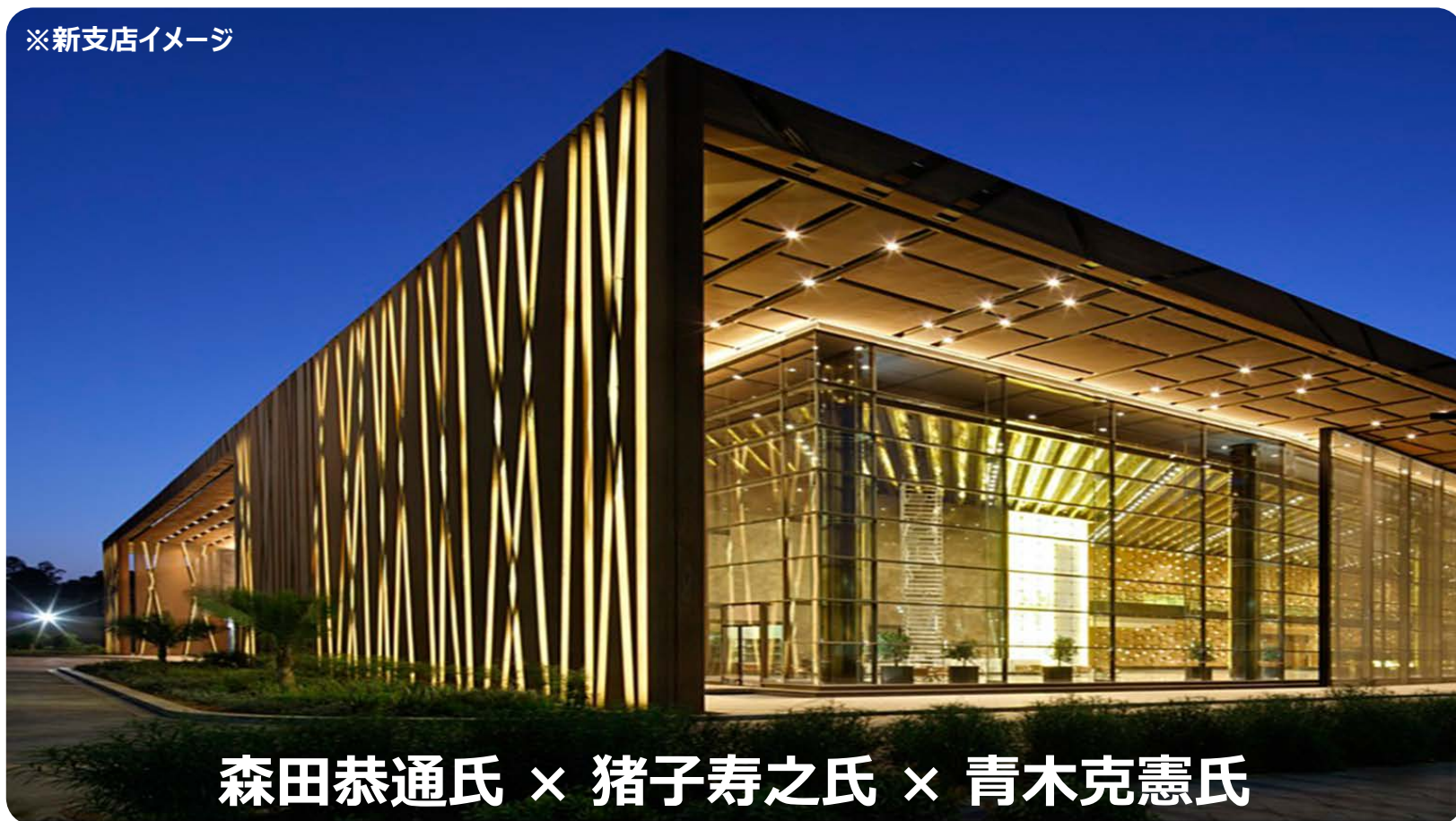
■ 2000年代：キャラクター路線の定着

2000年代に我々が提唱したキャラクター路線は完全に定着し、次の時代の新しさの核に成長しようとしている。新しさこそが商品の命なのだ。

10) 営業体制

営業拠点**26支店**から**37支店**、
営業社員**300名**から**400名体制**へ

※新支店イメージ



森田恭通氏 × 猪子寿之氏 × 青木克憲氏

世界の先頭を走るトップクリエイターのコラボレーションで実現

2 円谷プロダクションの現状

1) 最近の事業展開

キッズ向け

40代～

事業展開

テレビ（地上波）、映画、グッズ など



コミックス、ゲーム など



パチンコ・パチスロ、テレビ（衛星） など



ネオ・ウルトラQ

イベント

ウルトラマンフェスティバル



生誕45周年ウルトラセブン展



円谷英二 特撮の軌跡展



お正月だよ!ウルトラマン全員集合!!



2) 円谷プロダクションの歴史 (設立～TYO傘下)

1963年設立

東宝グループ

円谷エンタープライズグループ

TYOグループ

昭和ウルトラマン

平成ウルトラマン

ウルトラマン
1966年

ウルトラセブン
1967年

ウルトラマンタロウ
1973年

ウルトラマンティガ
1996年

ウルトラマンコスモス
2001年

ウルトラマンゼロ
2009年



...



主な代表作

ウルトラマンのヒット

ウルトラセブン以降の衰退

新作投入による財務体質の悪化

TYOによる財務リストラ

利益

製作費

利益

製作費

利益

製作費

- ・スタジオ閉鎖
- ・人員削減 等

過去の財産の消耗

財務状況

3) 今後の収益イメージ

訴訟問題

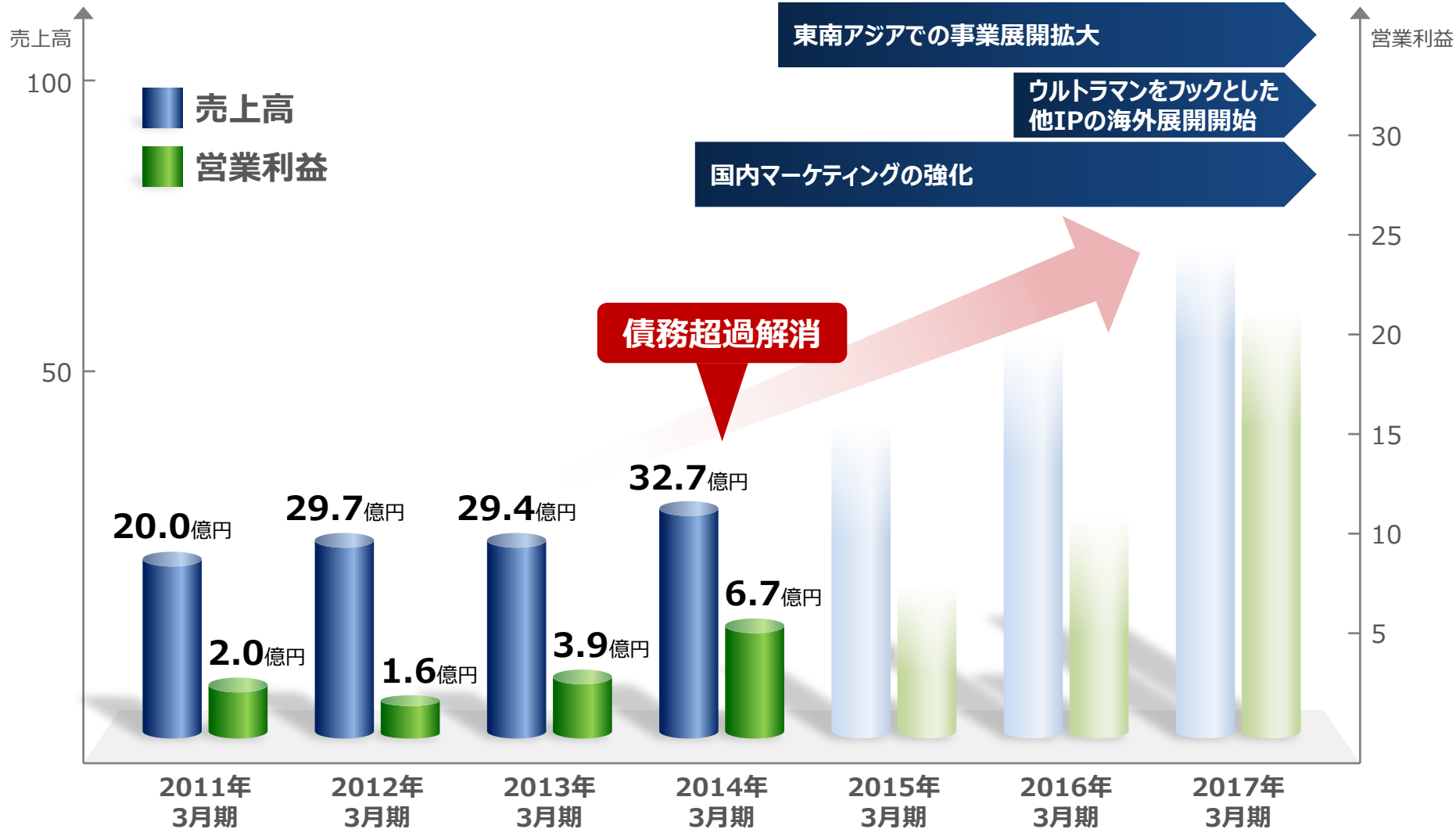
北米・欧州での事業展開

(単位:億円)

東南アジアでの事業展開拡大

ウルトラマンをフックとした
他IPの海外展開開始

国内マーケティングの強化



※ 2011年3月期は、決算期変更に伴い8か月決算となっています。

創出IPのクロスメディア展開

1) 成長するビジネスモデル

2012年5月

IPを中核とした「成長するビジネスモデル」を発表



2) マジスティックプリンスのIP育成コンセプト

当社及び有カパートナー企業と連携し、クロスメディア展開を念頭にした
オリジナルロボットアニメーションIPプロジェクト。

アニメ放送開始前から月刊ヒーローズにおいて本編のアナザーストーリーを連載を開始し、
イベント等の仕掛けを取り入れながらファンを着実に増やし、
マーチャンダイジングでマネタイズする

アニメ



2013年4月～

コミック



2011年11月～

ソーシャル
ゲーム

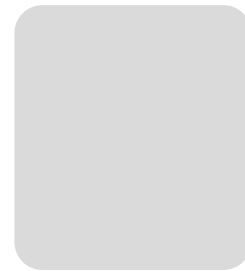


2014年2月～

グッズ

- ・iPhone5専用カバー
- ・ミニ扇子ストラップ
- ・各種フィギュア、他

パチンコ・
パチスロ



...

3) マジスティックプリンスのIP育成サイクル





Gaming and Entertainment

本資料に掲載されている弊社の計画、戦略、予想などは、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、弊社の主たる事業領域でありますパチンコ・パチスロ市場を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社の取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。

コーポレートコミュニケーション室 IR・広報課
TEL : 03-5784-2109 E-mail : ir@fields.biz